つた。

〔鳥取大学医学部衛生学教室〕

浮浪者肌衣の虱の観察と DDT の効力試験

Sukegawa, N., Ootsu, S., Ishii, J., Hori, S.,
Harada, F. and Miyake, I.: The occurrence
of lice on clothes of bagabonds, and the
effect of DDT on it.

助川信彦・大津昇一・石井襄二・堀七郎
原田文雄・三宅殿

昭和 25 年 11 月、横浜市内浮浪者から肌衣 10 枚を譲
受け DDT の附着状態、虱の蛹集状態を観察すると共
に、肌着に附着する虱に就て、生存虱の吸血能力、虱卵
の孵化状況、現用 DDT 3 種の効力比較等の諸試験を実
施した。肌衣は DDT 撒布より 6 日後のもので、縫目
と折返しの部分には白粉は無く虱の蛹集が見られた。生
存虱 71 匹の内吸血能力を有するものは 83 % であつた。
これに新たに DDT を作用させたところ 3 日後も 1 部生
存し、且吸血するのが認められた。

〔横浜市防疫課・神奈川縣衛生研究所〕

高等植物の殺虫性に関する研究(第 3 報)

白樺油の殺虫成分について(1)

Yamaguchi, K., Shōji, H. and Suzuki, T.:
Studies on the insecticidal action of Japa-
nese plants. (part III) Insecticidal cons-
tituents of Birch Tar Oil (I)

山ロー孝・庄司初枝・鈴木猛

(1) 白樺油の製造精製及び其性質

シラカンバ *Betula taubshii* Koidz の樹皮を乾溜する
と 330~350° で最も活潑に乾溜が進行し、原料の 40~46
% の白樺原油が得られる。600g の原油を N 水酸化ナトリ
ウム液で洗い 524 g の中性原油と 25.5 g の酸性油とに分
ける。中性原油は特異の焦臭をもつ暗褐色の油で比重は
0.880 (17°) を示す。中性原油は無水フタル酸と油浴
中で 125° に加温し、アルコール性物質 0.4 % を除くと主
として炭化水素と見做される中性油 76 % が得られる。

炭化水素の混合物は減圧蒸溜を 6 回反覆し最後に 13

個の溜分に区分した。それら 13 個の溜分についての比
重、屈折率、比旋光度、沃素價、分子量を測定し元素分
析を行つたが其結果を要約すると次の通りである。

1) 比重、屈折率は沸点の上昇と共に増大する。

2) 各溜分の色調は何れも黄に属するが沸点の上昇に
したがつて明度を減じる。3) 第 5~8 溜分(bp 233~280°) の元素分析値はテル
ペン炭化水素の一般式 $(C_5H_8)_n$ に一致する。4) これら溜分の沸点、比重、屈折率、分子量 (第 6
~7 溜分につき) は一般的に言つて Sesquiterpene のそ
れらに概当し、Vesterberg の記載とも一致する。

(2) 殺虫試験成績

原油又はその溜分 10 g, 石ケン 0.5 g, ロート油 0.5 g
水 5 cc より 62.5 % の乳剤を製し、これを水で適當濃度
に稀釈し検液とし、アカイエカ *Culex pipiens pallens*
3~4 令幼虫に対する殺虫率を検した (24 時間 25° に於
いて、各検液に 10 匹の幼虫を使用)、其結果は次の通り
であつた。

原油及び中性油は 1 万倍稀釈濃度で 100 % の殺虫率を
示す。

最も有効な溜分は第 7 溜分 (1: 51200) で第 8~10 溜
分 (1: 25600) が之に次ぐ、第 7~8 溜分の殺虫効果を同
一條件で Phenol の示す値と比較すると其 14~15 倍を
示す。

〔国立衛生試験所、傳染病研究所〕

テングダケ及びカラカサダケの
殺虫性について

Yamaguchi, K., Suzuki, T., Katayama, A.,
Sasa, M. and Iida, S.: Insecticidal action
of *Amanita pantherina* (D.C) Secr.
and *Lepiota procera* Quel.

山ロー孝・鈴木猛・片山顯民・佐々学・飯田鈴吉

福島縣地方で俗間にハイトリシメヂと称し殺虫剤とし
て用いられている茸 2 種について実験を行つた成績に関
し報告する。

検体は 1949 年 10 月福島縣安積郡熱海町附近で採集さ
れ送附を受けたものであり、乾燥品でありかびを生じて
いたので形態色彩等充分に正確に表現出来ないが国立科
学博物館小林博士に鑑定を御願ひした処前者はカラカサ
ダケ *Lepiota procera* (Scop) Quel であり、後者はテン